

# みんなを守る

# 119

## 「風水害への備えは十分ですか？」

我が国では、毎年6月から7月にかけて梅雨前線の活動が活発化します。また、台風の接近・上陸により甚大な被害をもたらしています。

②屋根・雨どい  
瓦にひび、割れ、ずれ、はがれがないか点検しましょう。  
トタンのはがれやめくれも点検

③ベランダ  
物干し竿や鉢植えなど落下や飛散の危険性があるものは片づけましょう。  
④ブロック塀  
ひび割れ、傾き、破損箇所がないか点検しましょう。

⑤側溝  
側溝のゴミや砂を取り除き、雨水の排水をよくしておきましょう。  
⑥窓・雨戸  
窓のひび割れや窓わくのガタツキがないか点検しましょう。飛来物に備えて外側から板で補強をしましょう。  
雨戸にもゆるみやガタツキがないか点検しましょう。

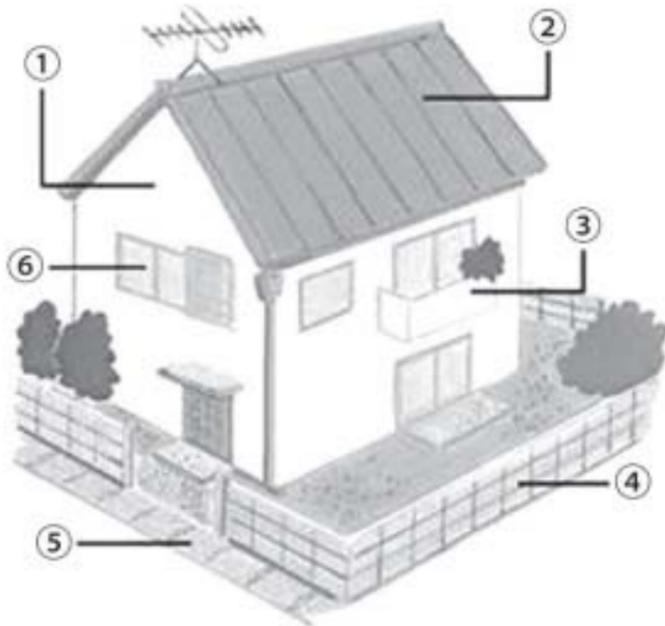
▼洪水時の避難のポイント  
①安全で動きやすい服装で！ヘルメット（防災ずきん）で頭を保護し、ひもでしめられる運動靴を履いて。  
②足元に注意！冠水した道では、マンホールや側溝などの危険箇所がわかりにくいので、長い棒を杖代わりにして安全確認を。  
③水の深さに注意！歩行できる深さは、一般的に男性で70cm、女性で50cm。深さが腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理せず高所で救援を待つ。

④単独行動は危険！はぐれないようお互いの身体をロープで結び、集団で避難を。子どもから目を離さない。  
⑤災害時要援護者の安全確保！高齢者や病人は背負う、子どもには浮き袋をつけるなどして、安全の確保を。

台風や大雨などの自然災害は、私たちの手で抑えることはできなくても、正しい知識と事前の備えによって被害を軽減することができます。  
「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持って、今一度身の回りを見つめ直して見ましょう。

### ▼屋外では

- ①外壁  
・モルタルの壁に亀裂がないか点検しましょう。  
・板壁の腐りや浮きもチェックしましょう。



### ▼気象・台風豆知識

- ・雨量や風速の知識で気象情報に強くなりましょう
- ・台風の大きさには階級があり、風速の半径で決まります。

### 雨の強さと想定される被害

1時間の雨量 (mm)	予報用語	想定される被害
10mm 以上～ 20mm 未満	やや強い雨	地面からの跳ね返りで足元が濡れる。長く降り続くときは注意が必要。
20mm 以上～ 30mm 未満	強い雨	傘をさしていても濡れる。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30mm 以上～ 50mm 未満	激しい雨	道路が川のようになる。山崩れ、がけ崩れが発生しやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50mm 以上～ 80mm 未満	非常に激しい雨	水しぶきで視界が悪くなる。地下に雨水が流れ込む。土石流が発生しやすい。
80mm 以上～	猛烈な雨	大規模災害が発生する恐れが強い。嚴重な警戒が必要。

### 風の強さと想定される被害

平均風速 (m/秒)	予報用語	想定される被害
10m 以上～ 15m 未満	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。
15m 以上～ 20m 未満	強い風	風に向かって歩けない。転倒する人が出る。ビニールハウスが壊れ始める。
20m 以上～ 25m 未満	非常に強い風 (暴風)	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。
25m 以上～ 30m 未満		立ってられない。屋外での行動は危険で、樹木が根こそぎ倒れ始める。
30m 以上～	猛烈な風	屋根が飛ばされる。木造住宅の全壊が始まる。

### 台風の大きさと階級分け

階級	風速 15 m / 秒以上の半径 (km)
大型 (大きい)	500 km以上～ 800 km未満
超大型 (非常に大きい)	800 km以上～

### 台風の強さと階級分け

階級	最大風速 (毎秒)
強い	33 m以上～ 44 m未満
非常に強い	44 m以上～ 54 m未満
猛烈な	54 m以上～



平成 15 年 7 月 19 日の集中豪雨により決壊した宇美川